

## 2022年度 HP用 学校説明会 「部長挨拶」

皆様、こんにちは。初等部部長の中村貞雄です。

いっこうに治まらない新型コロナウイルス感染症です。東京は、日本は、そして世界は、今後どうなっていくのでしょうか。ウクライナの戦争も心配です。10年後、20年後、日本や世界はどうなっているのか、私には想像も出来ません。今の子ども達が大人になる頃には、平和で、安心で、安全な世の中になっていることを願うばかりです。しかし、少なくともこの10年で、社会が目まぐるしく変わってきていることは事実です。求められる社会能力も大きく変わってきています。もちろん学校も例外ではありません。

まずは、英語教育です。グローバル化と言われて久しですが、ようやく公立小学校でも高学年で始まりました。初等部では、今までも他校より50歩も100歩も先んじた英語教育を実施してきました。初等部の1年生から高等部3年生までの12年間を一貫した英語教育をおこない、そのために青山学院独自の英語教材「SEED BOOK」を作成、使用しています。

もう一つは、コンピュータ、タブレットPC、電子黒板、電子教科書等を導入し、授業や家庭学習など様々な場面で文房具の一つとして使っていくICT活用です。コロナ禍での2年間、緊急事態宣言中での休校期間も保護者の協力をいただき、いち早く全児童各家庭における「オンライン学習」を実施しました。これは、子ども達の「学びの保証」と、そして青山学院初等部の大切な子どもとして「つながる」ことを一番に考えた結果でもありました。また、昨年からは、民間企業とタイアップした「プログラミング教育」もスタートしています。

英語やICT活用はほんの一例に過ぎませんが、これからの社会は、知識だけの習得では通用しません。世界中にあふれる情報の中で何が必要で大切なのかを判断し、構造化して、明快に表現できなければなりません。異なる文化の人と接する機会が増え、コミュニケーション能力、表現力も今以上に大事です。自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に行動できる能力、正解のない問題にどれだけ多くの考えが提示できるか、そして生涯にわたって学び続ける学習力などが必要とされています。これらのことは、今までの初等部教育の考え方、方向性と同じで、いつでも、どこでも学習や生活の主体、主役は、子ども達一人ひとりにおいて「感じ・考え・学習する」という学びのサイクルと、基礎・基本を大切に、「一人ひとりが活かされ、一人ひとりを活かす」という初等部ならではの教育をこれからも実践して参ります。

これら初等部教育の根底にあるのが、キリスト教信仰に基づいた一貫教育です。幼稚園から大学、大学院までの総合学園として今年で創立148年目を迎えました。そして、創立150年に向け「サーバント・リーダーの育成」という明確なビジョンを掲げ歩んでいます。

従って本校は、他人との比較や競争をする「能力主義」の学校でも、特別な力に特化した「英才教育」の学校でもありません。日々、子ども自身の内面に「感じ・考え・学習する」サイクルを生み出し、主体的な学校生活を送る実践をしてきました。「教える、教え込む」教育から、「自ら学び体得する」教育へ。様々な経験、体験を通して感じ、物事を深く考え、思いやりのある人間関係を築きながら成長する。そしてキリスト教信仰に基づく学校として、神様から与えられた命を人間らしく生きる。

そのような人格教育、そして人を育てることを柱としている学校です。しかもこのような人格教育は、大人になってからでは遅いのです。心が素直で柔らかな子どもの時にこそ必要であり大切なことだと考えています。皆同じの「画一的な横並び教育」や詰め込んだ知識を競い、1番になるための「Number One の教育」ではありません。本校では、一人ひとりの賜物を活かした「Only One の教育」。これが初等部です。「Only One」の教育には時間と根気、そして愛が重要です。もちろん「Only One」の中から「Number One」が生まれることは必然だと考えています。

人は教育によって真の人間となります。人生でたった1回きりの小学生時代、この大切に素晴らしい時をどこで、どのような教育を受けるのか、これは親の責任でもあります。人格形成にとってきわめて大切な時期に、核となる価値観を持つ事が人生の羅針盤となり、揺るぎない人生を歩む事ができると信じています。

青山学院初等部は、キリスト教信仰に基づく建学の精神を根底において、神様からの賜物を活かし、これからのグローバル時代を生きていく子ども達を育てる教育の場です。そのために、教職員一人ひとり、愛を持って子ども達と向き合っています。

青山学院初等部の教育をご理解いただき、お子様の学校の選択肢の一つとして加えて頂ければ幸いです。

2022年5月

青山学院初等部 部長  
中村 貞雄